

三 谷 小 学 校

「本を通して、自分の心と知識が広がる図書館」

今の学校図書館

- ・各クラスともに積極的に学校図書館を利用して授業を行っている。
- ・保護者や地域の方々と連携を図りながら「読み聞かせ」を行っている。
- ・図書委員会の児童が読書活動を推進するために様々な取り組みを行っている。

学校図書館の運営

- ・読書推進のために、児童のニーズに応える蔵書構成を考え、授業で必要な図書資料を揃えるなど学習センターとしての役割も重視して選書を行っている。
- ・学校図書館活用のための「学校図書館年間計画表」を作成し、授業ですぐに使える図書資料を計画的に準備している。
- ・「さんやとしょだより」を作成し、学校図書館からのお知らせを児童・保護者・教員に周知させている。

1年間の主な活動

- ・朝の時間にクラスごとに読み聞かせの活動(場合によっては Microsoft Teamsを使った読み聞かせ)
- ・各学年ごとに、「さんやの10冊」の課題図書を設定。
- ・読書週間(年3回)に、図書委員の児童によるイベント。
- ・「宝探し&本の福袋」の取り組み。

特色ある取組

※1・2ともに図書委員によるもの

※1. 本の紹介

低学年・中学年・高学年向けの本の紹介を作成、配布、掲示をした。

※2. 読書週間のイベント

<好きな本ランキング>

- ・各学年ごとに、学校図書館にある本の中から好きな本、おすすめの本についてアンケートを行った。結果をポスターにまとめ、各学年に直接知らせた。その際、学校図書館にあることを再度知らせて、実際に読んでもらえるように工夫をした。

<クイズ>

- ・「好きな本ランキング」の上位に入った本の内容にちなんだクイズを作成し、読書週間の期間中、給食時に放送でクイズ大会を行った。

これからの学校図書館

これまでやってきたことをできる限り継続し、ICT 機器を使った新しい取り組みや児童が実際に本を手にとって活動できる機会を増やしていきたい。